

1. Cinderella, R, Maxima をインストールする.

- <https://beta.cinderella.de> (Cinderella)
 - 解凍してできる Cinderella2(.app) を /アプリケーションに**移動**する.
 - 注) ketcindy(-master)/forMac にある Applications にドラグドロップしてもよい.
- <https://cran.r-project.org> (R)
 - ダブルクリックして, 起動するかを確認する.
- <https://sourceforge.net/projects/maxima/files> (Maxima)
 - v5.38.0 以前の方が v5.40.0 以降より軽い.

2. TeX をインストールしていない場合はインストールする.

(1) TeXLive を推奨

- 2018 以降では ketcindy が既に入っている.

(2) KeTTeX は TeXLive の軽量版

- kettex.dmg を以下からダウンロードできる.
 - <https://www.dropbox.com/s/dc4inuk06t07g26/kettex.dmg?dl=0>
- ダブルクリックしてできる kettex を /Applications に入れる.

(3) 他の TeX の場合は, 3.(2) を参照する.

3. KeTCindy のインストール

(1) ketcindy を CTAN(<https://ctan.org>) からダウンロードする.

ketcindy で検索 > Package ketcindy > download

注) 最新版は, Repository のサイト

<https://github.com/ket-pic/ketcindy>

から以下のようにダウンロードできる.

Clone or download > Download ZIP

注) この場合は, ketcindy-master になる.

注) フォルダ名が ketcindy-master 2 などになっていたら, スペースをとる.

注) すべて手動でインストールするときは, 7 に従って行う.

(2) ketcindy(-master)/forMac を開く.

注) 他の TeX を使っている場合

- setketcindy.command をテキストエディタで開く.
- パスを修正する.

(3) setketcindy.command をダブルクリック

注) 管理者権限が必要となる.

注) 開かないときは Control+クリックでターミナルを選ぶ.

注) ダブルクリックで「開くか」を表示させるには, ターミナルで以下を実行しておく.

```
sudo spctl --master-disable
```

- scripts の中身が TeX にコピーされる
- ketcindy の style ファイルが TeX にコピーされ mktexlsr が実行される.
- Cinderella の Plugins に KetcindyPlugin.jar をコピー, ketcindy.ini が作成される.

(4) `setwork.command` をダブルクリック

注) 開かないときは Control+クリックでターミナルを選ぶ。

- 作業ディレクトリ `ketcindy` がユーザホームに作成される。
- タイプセットの方法 (TeX の種類)
通常は, `platex (p)` または `uplatex(u)` を選ぶ。
- `ketcindy` フォルダに `work` フォルダの中身がコピーされる。
- `.ketcindy.conf` (不可視ファイルだが編集可能) がユーザホームに作成される。
注) TeX を切り替えるときなどはこのファイルを修正する。
- マニュアルもコピーされる。
- 作業ディレクトリに `ketcindy.conf` の雛形がコピーされる。
- KeTCindy を立ち上げたとき, 設定ファイルは次の順に読み込まれる。
 - 1) `ketoutset.txt`
 - 2) ユーザホームの `.ketcindy.conf`
 - 3) 作業ディレクトリ `ketcindy` の `ketcindy.conf`

4. KeTCindy のテストラン

- (1) 作業ディレクトリ `ketcindy` を開く。
- (2) `ketcindy` 中の `template1basic.cdy` を選び, 「情報を見る」を開く。
 - アプリケーションが所定の `Cinderella2` になっていることを確かめる。
 - 「情報」を閉じて, `template1basic.cdy` をダブルクリックする。
 - 画面に白い枠が出れば, ライブラリの読み込みは成功。
- (3) スクリーンの左上部にある Figure ボタンを押して, PDF が表示されれば成功。

注) PDF の表示後, ターミナル画面を閉じるようにするには

- アプリケーション / ユーティリティ / ターミナルを開く
- トップメニューから
ターミナル > 環境設定 > (プロファイル) > シェル
「シェルが正常に終了した場合閉じる」を選択

5. TeXworks の設定 (kettex の場合)

- <https://github.com/TeXworks/TeXworks/releases/> からダウンロードできる。
- TeXworks を立ち上げる
- TeXworks > 環境設定 > タイプセット
- 上の欄 (パス) に以下を追加
`/Applications/kettex/texlive/bin/x86_64-darwin`
注) 上の行を上欄の先頭になるように移動する。
- 下の欄の横にある + をクリック
 - 名前: `uplatex(ptex2pdf)` または `platex(ptex2pdf)`
 - プログラム: `ptex2pdf`
 - 引数:
 - u (uplatex の場合のみ)
 - l
 - ot
 - `$synctexoption`
 - `$fullname`

OK ボタンを押し、デフォルトを変更して OK ボタンを押し。

6. gcc のインストール

- ・ 曲面描画のためには、gcc が必要である。
- ・ Xcode がインストールされていなければ、インストールする。
注) ターミナルで次を実行すれば、gcc だけがインストールされる。

```
sudo xcode-select --install
```

7. 手動でインストールする場合 (KeTTeX)

注) 他の TeX の場合は、適宜パスを置き換える。

```
/Applications/kettex/texlive => /Library/TeX/Root など
```

- (1) ketcindy(-master)/ketcindyfolder を開いておく。
- (2) scripts フォルダの中身を以下にコピーする。

```
/Applications/kettex/texlive/texmf-dist/scripts/ketcindy
```
- (3) style フォルダの中身を以下にコピーする。

```
/Applications/kettex/texlive/texmf-dist/tex/latex/ketcindy
```
- (4) ターミナルで以下を実行する

```
sudo /Applications/kettex/texlive/bin/x86_64-darwin/mktextlsr
```
- (5) /Applications/Cinderella2(.app) をダブルクリック
- (6) メニューから 「スクリプト」 > 「プラグインを開く」を選び、Plugins フォルダを開く。
- (7) scripts/ketjava/KetCindyPlugin.jar を Plugins にコピーする。
- (8) ketcindy(-master)/forMac/Forsettingmanually/ketcindy.ini を Plugins にコピーする。
注) 他の TeX の場合は、ketcindy.ini をテキストエディタで開いて修正する。
- (9) Pugins を閉じ、Cinderella2 を終了する。
- (10) work を適当な場所にコピーして、名前を変更する。
注) 標準は パス：ユーザーホーム (の直下) 名前：ketcindy
- (11) 上の作業ディレクトリ (ketcindy) に doc/ketmanual のマニュアルをコピーする。
- (12) forMac にある ketcindy.conf をテキストエディタで開き、適宜修正する。
- (13) ターミナルで以下を実行する。

```
cp (forMac のパス)/ketcindy.conf ~/.ketcindy.conf
```